

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/8/4 実施)～

参加者: 3名

先週は雨で観察会はお休みにしたので今日は7月8月合わせての観察会だが、連日の猛暑。どうなることやらと、少々案じながらのスタートとなった。池のアシはいつもなら3mくらいにのびているのに、今年はそんなに高くはなく、元気もないような感じだ。

アブラゼミ、そして時々ミンミンゼミ、合わせてウシガエルの伴奏。BGMはにぎやかだ。セミのぬけがらはいたるところで見られる。一枚の葉に二つもぬけがらがついていたり、柵にはったロープに行儀よくぶら下がっていたり、さまざまだ。



アベリアの蜜を吸うイチモンジセセリ

生い茂った草むらにはバッタやイナゴが飛び交っている。この暑さのなかでも虫は元気だ。アッ！ギンヤンマ。つがいで水の上を飛んで、その後産卵しているようだった。緑と青の体があざやかだ。シオカラトンボ、真っ赤なショウジョウトンボもやってきた。ハグロトンボは前回に比べたら数は減っていた。オオシオカラ、ノシメトンボ、ナツアカネ？オニヤンマ。オニヤンマはかなり高いところまで上がってしまった。チョウではオレンジ色が鮮やかなツマグロヒョウモン、イチモンジセセリ、キアゲハ、モンキチョウ、ナミアゲハ、コムスジ、アオスジアゲハ、アカホシゴマダラ、ベニシジミ、ヤマトシジミ。そしてクモでは巣に獲物をかけてお食事中的のナガコガネグモ、ジョロウグモ、イオウイロハリグモなどが次々に現れ、目を楽しませてくれた。



イネ科が好物のホソハリカメムシ



お食事中的のナガコガネグモ



イネの間に生えるタマガヤツリ

田んぼの稲は花が、そして「もう実もついている」と見ていたら、稲の間にタマガヤツリを見つけた。チョウジタデ、ヒレタゴボウ、アゼナなども一緒に育っている。「お米を育てるためにはこれらはじゃまなんだよね、植物観察には楽しいけれど」と話す。

ヒメジソ、タカサブロウ、コブナグサ、タコノアシはまだ花はついていなかった。イボクサも葉のみ確認。暑い中でイボクサの花を見つけるとうれしいのだが残念だ。

アオミズ（葉）ツユクサ、コヒルガオ、ヨウシュヤマゴボウ、ヤブミユウガ、セリ、ハキダメギク、オオニシキソウ、イノコヅチ（いずれも花）ノブドウ（花と実、アリも寄っており、ソクズと似ている）ケイヌビエ、マツカサススキ、アゼガヤツリ、ヒメクグ、ミコシガヤ、ヒメガマ、コウガイゼキショウ、アゼガヤツリ、カヤツリグサなども今はさかりといった感じ。ツルマメはシロバナサクラタデの群れのあたりに大いに勢力をのぼしている。

カントウヨメナが茂る草の中で一輪咲いていて美しい。



まだ実が白いノブドウ



色づいてきたヤマボウシ

コナラの木には、すでにしっかりしたドングリがついていた。広場のヤマボウシの実が色づいている。一本のムクノキの葉がなぜか茶色に変色している。人間だけじゃなくこの暑さは植物にも大変なのだろう。

最後に、せみ時雨のなかにツクツクボウシの声が混じっているのを聞く。まだまだこの猛暑は続くようで、秋が近くにきているとは言い難いが。

9月の湿地の観察会は、、、

9月15日（土）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）